

第2章 景観づくりの基本的な考え方

2-1 基本目標

『未来へつなぐ白山市の美しく魅力あふれる景観』
 ～ 豊かな自然と歴史・伝統・文化を感じる景観づくり ～

白山市域には、日本三名山の一つ霊峰白山から手取川扇状地を経て、日本海につながる美しい自然景観が形成されています。

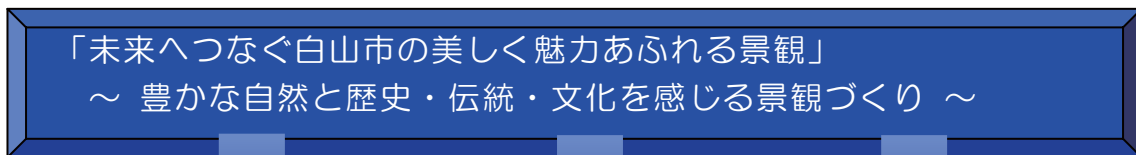
また、その豊かな自然を背景として、松任・美川・鶴来・河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰の各地域では、人々が個性的で多様な歴史・伝統・文化を連綿として培ってきました。特徴あるまちなみや文化的景観は、各地域のかけがえのない固有の資産となっています。

白山市は、このような景観の土台となる地形と、それぞれの地域の歴史・伝統・文化を背景に、特色ある景観特性を **守り**、**育てる** とともに、新たな景観を **創る** という可能性を秘めています。

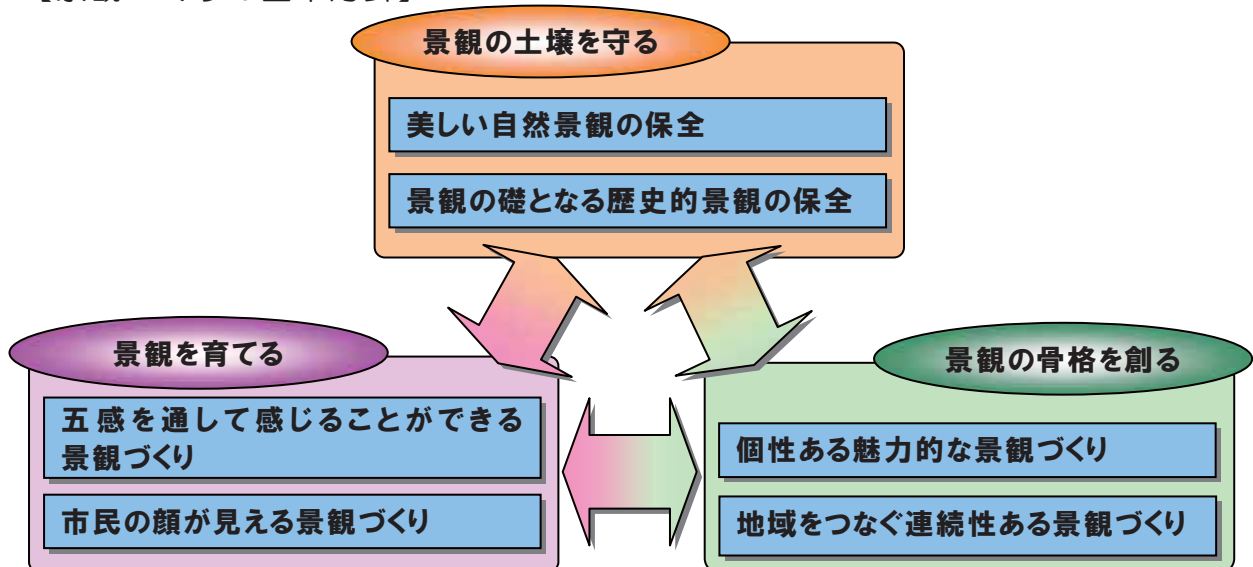
今後、優美な自然と共に歩みながら市民・事業者・市の協働による景観づくりを展開し、美しく魅力あふれる景観を守り、育て、創り、後世に引き継いでいくことを目指します。

2-2 景観づくりの基本方針

【基本目標】



【景観づくりの基本方針】



美しい自然景観の保全

(1) 美しい白山・手取川・日本海などの魅力的な地形資産を守る景観づくり

本市のシンボルである霊峰白山から流れ出る手取川は、扇状地を形成して日本海へと注ぎ込まれます。

このような地形資産は、景観を形成するための土台であり、今後も保全していきます。そのため、白山山系や海岸線などの眺望路^{ちやうぼうろ}の確保に努めるとともに、多くの来訪者が利用できるよう眺望のPRや視点場^{してんば}の整備に努めます。

※眺望路

眺望を確保するための帯状の空間のことです。

※視点場

良好な景観を眺望することができる場所のことです。

景観の礎となる歴史的景観の保全

(2) 景観の礎として歴史・伝統・文化を継承し、保全していく景観づくり

本市には、数多くの歴史的建造物や史跡・神社仏閣が現存し、また、祭りや行事などの伝統・文化が脈々と受け継がれています。このような本市の歴史・伝統・文化は、景観を形成するための礎として、今後も受け継がれるべき景観として保全するとともに、後世へと継承していきます。

また、白山ろくには、豊かな自然と共生し、焼畑農耕という独特の農耕形態が形成する稀有な景観などが今もなお受け継がれています。中でも、白峰地区は深い山間にありながら、古くからにぎわいのある独特な集落で、現在でも伝統的なまちなみが残されている地区として高く評価されています。これらを地域の協力を得ながら、文化財保護法に基づく国の重要文化的景観、重要伝統的建造物群保存地区として選定を受け、世界文化遺産としての登録をめざします。

景観の土壌を守る



手取川河口から望む白山



日本海の夕景（小舞子海岸）

景観の土壌を守る



雪だるまカフェ



横町うらら館

五感を通して感じることができる景観づくり

(3) 四季・時間を感じることができる景観づくり

景観は、まちなみや風景などの眺められる対象となる景と、それを観る人との関係から成り立つものです。また、観るとは、人の目に映る色や形だけでなく、四季や時間の移り変わりの中で、その土地の歴史・文化・風土・日常生活から生じる雰囲気、さらには、水の流れる音や香りなど人間の五感を通して感じるもの全てが深く関係するものです。

そこで、四季の変化に富む美しい自然を感じる景観づくりを進めるとともに、樹木や施設のライトアップ、獅子吼高原からの夜間の景観演出などにも配慮しながら魅力ある景観を育てていきます。

景観を育てる



白山スーパー林道の紅葉



雪だるままつり

市民の顔が見える景観づくり

(4) 地域の産業を活かした彩りのある景観づくり

景観は、単に眺めるだけのものではなく、地域住民の日常生活とも深く関係しています。緑と土を生かす植林や間伐された山林、秋の稲穂の実り、港の漁船と漁火などは、人々の心に刻まれる原風景となります。また、にぎわいを見せる商店街や温泉、スキー場などは、地域に鮮やかな色をもたらします。

しかし、このようなにぎわいを見せる活動は場合によって景観を阻害する要因となり得ます。今後、景観的な視点から、阻害要因とならないように配慮するとともに、地域の産業の活性化を図り、景観づくりに彩りを与え、地域産業と調和した景観を育てていきます。

景観を育てる



美川漁港に停泊する漁船



にぎわいを見せるスキー場
(白山一里野温泉スキー場)

(5) 地域の人々が積極的に参画できる景観づくり

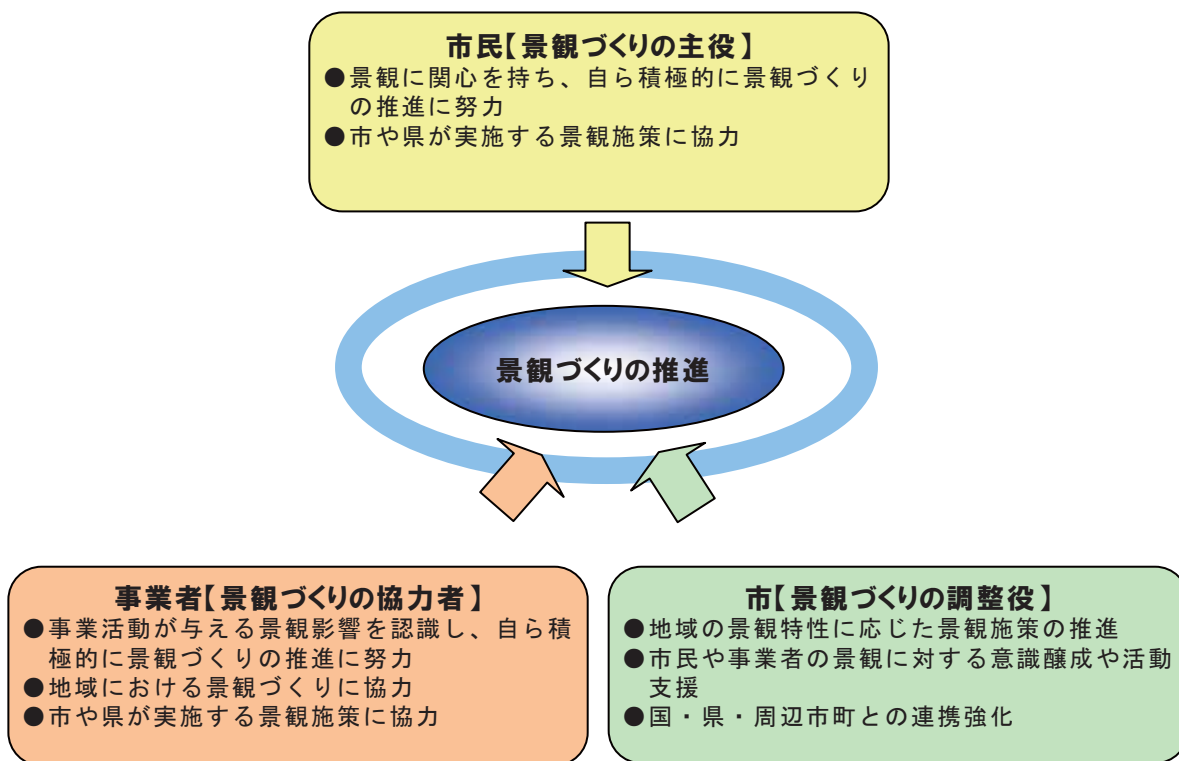
景観づくりは、地域に暮らす人々のすべてが、各々の立場に応じて関わり合いながら、景観づくりの担い手を育てていくことが大切です。その担い手となる市民・事業者・市が良好なパートナーシップのもとに協働し、それぞれの立場で役割を果たしながら、継続的に景観形成を推進します。

また、景観づくりの主役である市民の景観意識向上のために、景観形成の活動支援や広報啓発活動に取り組みます。

景観を育てる



景観教室



個性ある魅力的な景観づくり

(6) 個性ある魅力的な景観づくり

個性ある魅力的な景観づくりには、自然・歴史的景観を保全・継承するとともに、良好な景観を育て、新たな景観を創り出すことも必要であると考えます。建築物や公共施設などは景観の大きな要素であり、模範となる優れた建築物などは、個性ある魅力的な景観づくりを誘導することができます。

そのため、地域のシンボルとして景観づくりの模範となる優れた建造物・樹木は、保存・活用し、個性ある景観づくりの誘導を図ります。不特定多数の利用がある公共施設については、地域の景観特性を踏まえるとともに、景観の模範及び地域のランドマークとなる優れた公共施設として整備し、魅力的な景観づくりを図ります。

また、新たな景観などを創り出す場合は周辺景観との調和に配慮した景観づくりを進めます。

景観の骨格を創る



美川小学校



大ケヤキ（松任城址公園）

地域をつなぐ連続性ある景観づくり

(7) 地域をつなぐ連続性のある良好な道路沿道や鉄道沿線の景観づくり

広大な市域において、景観に対する取り組みを一体的に進めるためには、連続性を生み出す道路沿道や鉄道沿線の景観形成が重要であり、これにより市域全体の景観向上が図られます。

良好な沿道の景観づくりは、北陸自動車道、国道 157 号、国道 360 号、加賀産業開発道路、金沢外環状道路、白山スーパー林道など主要な幹線道路を基本とし、市民の理解と協力を得ながら、緑化・美化活動など生活道路における景観づくりも進めていきます。

景観の骨格を創る



白山スーパー林道

また、鉄道沿線の景観づくりは、北陸新幹線・JR北陸本線・北陸鉄道沿線の景観保全を図ります。

一方、沿道等の景観形成は、市域に留まることなく、市町界を越えた取り組みにも結びつくよう、景観を題材として、県や周辺市町との連携を強化していきます。

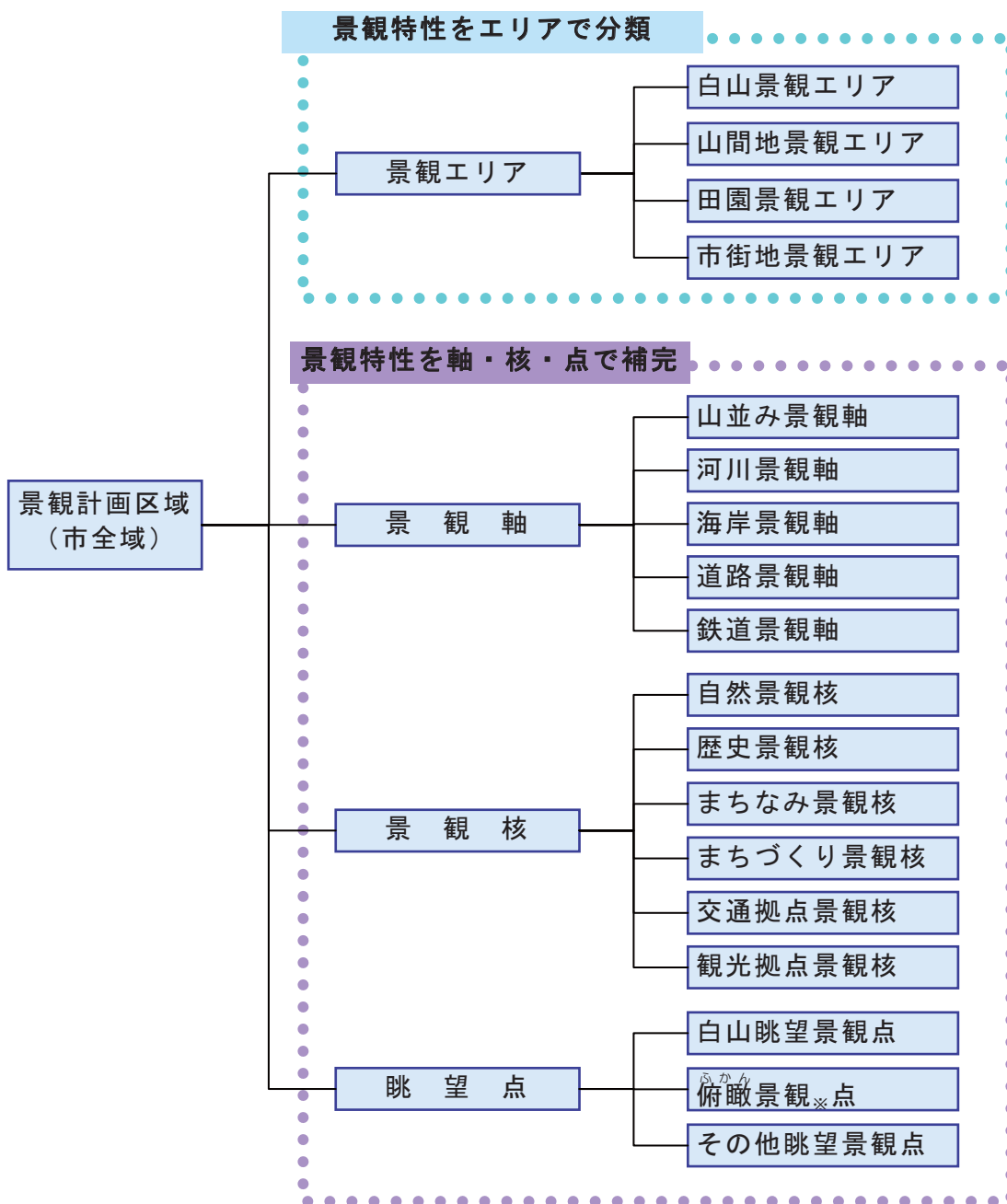


JR北陸本線と白山

2-3 景観づくりを図るべき区域の基本的な考え方

景観づくりの目標や基本方針を受け、白山市の地形・自然・土地利用などの景観特性を踏まえ、広大な市域を白山・山間地・田園・市街地の4つの「景観エリア」に分類し、景観づくりの方針を定めます。

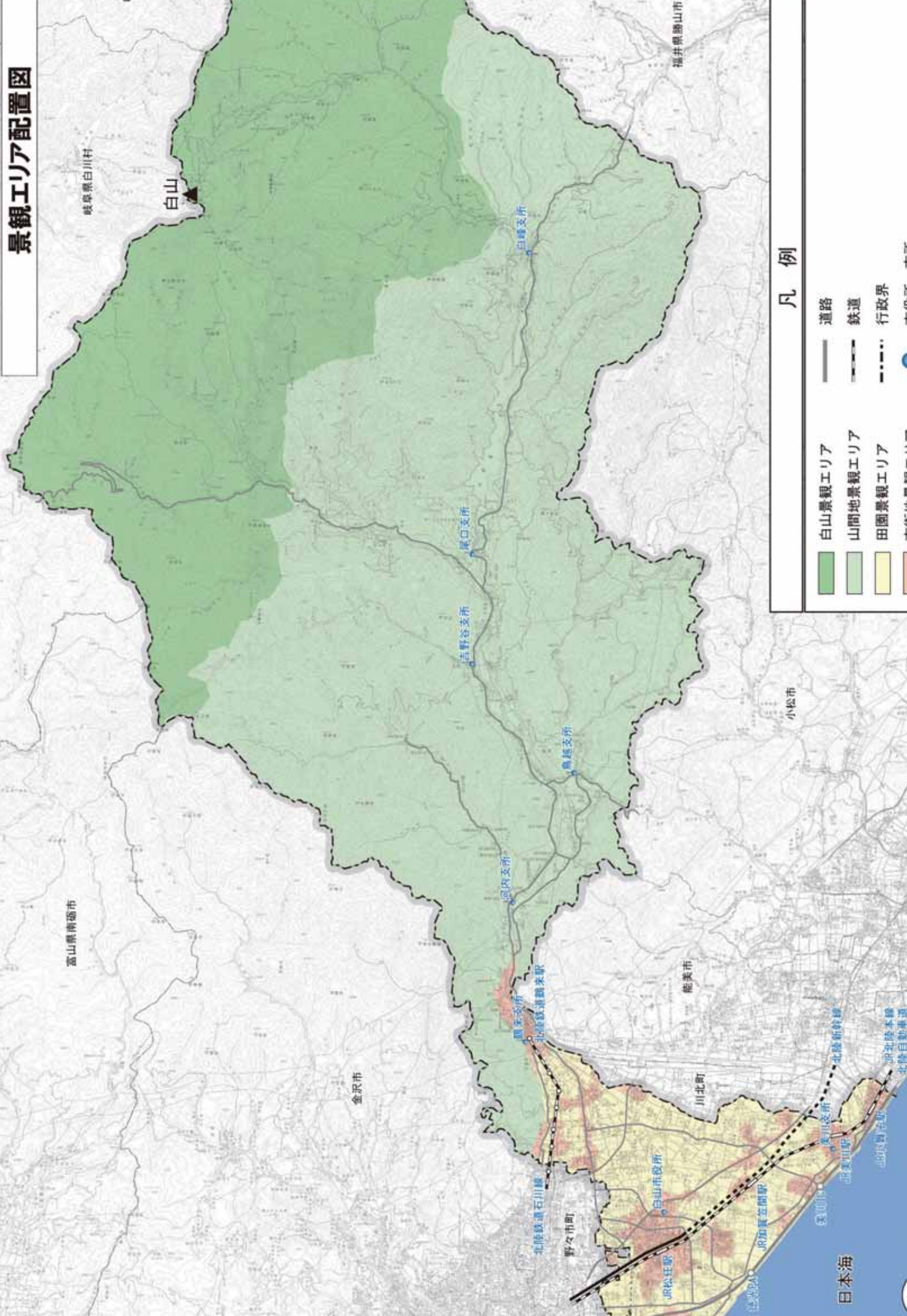
また、景観エリア分類で表現できない景観特性を軸・核・点で補完し、河川・海岸・道路など景観エリアを越えて形成している景観を「景観軸」、本市の景観の核を形成している施設(拠点)や歴史的なまちなみを形成している景観などを「景観核」、本市のシンボルである白山の美しい眺望などを「眺望点」と位置付け、景観づくりの方針を定めます。



※^{らんかん}俯瞰景観

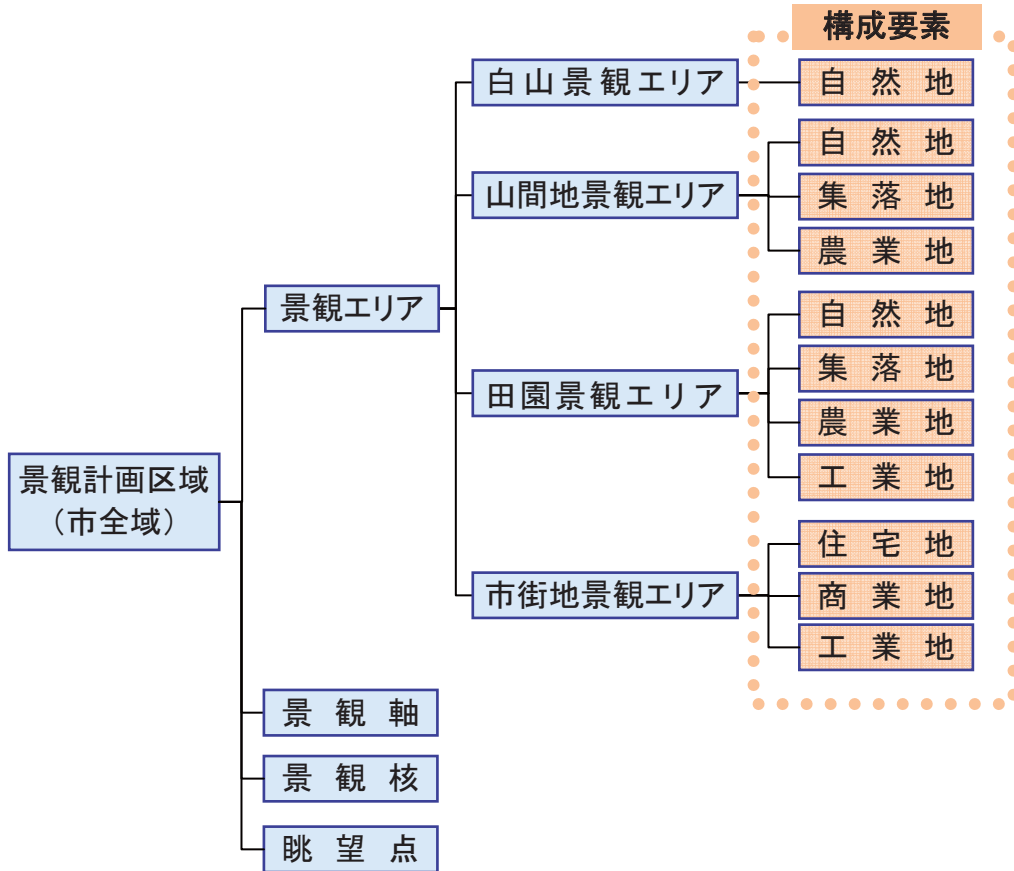
高所から見おろす眺めのことです。

景観エリア配置図



凡例

- 白山景観エリア
- 山間地景観エリア
- 田園景観エリア
- 道路
- 鉄道
- 行政界



1) 白山景観エリア

霊峰白山を中心に指定されている白山国立公園の区域を「白山景観エリア」と位置付けます。

白山は市民アンケート※でも「白山市らしい景観」で1位となっており、本市のシンボルである白山の良好な自然景観については、特に力を入れて保全を図ります。



白山パノラマ公園からの白山

※市民アンケート

白山市まちなみ景観形成基本方針策定時（平成18年）に調査されたアンケートです。

① 自然地

手付かずの大自然が残る当エリアでは、希少な動植物の保護や水環境を保全する環境施策と連携し、良好な自然景観の保全を図ります。

2) 山間地景観エリア

白山景観エリアを除く豊かな自然が広がる山間地を「山間地景観エリア」と位置付けます。

豊かな自然が広がる山並みは、本市全域の背景となります。また、自然と共生し保全される里山は、人と自然との交流空間であり、人々の心に刻まれる原風景となります。このような山間地景観を保全するためには、住民の活力維持が不可欠であり、白山ろく地域活性化計画との連携を図ります。



大日川からの山並み

① 自然地

市全域の背景となる地域内の山林は、地域に潤いを与える自然資源としての適正管理や市民・事業者との協働による植林活動や下草刈りなどの森づくり活動を推進し、山並みを保全します。

また、手取川をはじめとする河川においては、美しい自然景観を保全するとともに、市民・事業者との協働による緑化・美化活動などの推進により、潤いのある水辺景観の保全を図ります。



森づくり活動（瀬女遊林パーク）

② 集落地

周辺の豊かな自然景観と調和した集落景観を保全するため、背景となる山並みの景観に配慮し、建築物の高さや色彩の調和を図ります。

また、集落景観を保全するためには、住民の活力維持が不可欠であり、白山ろく地域活性化計画との連携を図ります。



自然と調和した集落（上吉野地区）

③ 農業地

山間地に見られる農地は棚田や段々畑など地域の地形を活かした特色ある原風景となっています。周辺の豊かな自然景観と調和した景観を保全するため、農業施策と連携し、優良農地の保全や遊休農地の対策を講じるにより良好な景観の保全を図ります。



そば畑（鳥越地域）

④ 共通

山間地景観エリアにおける一定規模以上の開発行為などについては、周辺の景観や自然景観と調和した良好な山間地景観の保全を図ります。



自然景観と調和のとれた開発
（ファミール鳥越）

3) 田園景観エリア

平野部で、まとまった農地を構成しているエリアを「田園景観エリア」と位置付けます。

白山や山並みを背景とした田園景観は本市の代表的な景観です。市街地景観との調和を保ちながら良好な田園景観を保全するため、農業施策や都市施策と連携を図ります。



白山を背景とした田園景観

① 自然地

海岸や河川などにおいては、美しい自然景観を保全するとともに、市民・事業者との協働による緑化・美化活動などの推進により、潤いのある水辺景観の保全を図ります。



海岸清掃活動（徳光海岸）

② 集落地

田園景観と調和した集落景観を保全するため、建築物の高さや色彩の調和を図ります。

また、風雨や夏の暑さを凌ぐために植林された屋敷林は田園景観に欠かせない存在であり、集落景観を保全するため、農業施策や都市施策と連携を図ります。



田園景観と調和のとれた集落

③ 農業地

平野部に広がる田園や網目状に流れる水路など、良好な田園景観を保全するため、農業施策や都市施策と連携し、農業の担い手である住民の生産活動維持や優良農地の保全を図ります。



白山を背景とした菜の花畑

④ 工業地

工業地を形成する事業者も景観づくりの協力者であり、重要な担い手です。田園に浮かぶ工場の色彩は、田園景観に与える影響が大きいため、建築物の色彩・デザインについては田園景観との調和を図ります。

また、事業者との協働のもと、環境協定をはじめとする工業施策や都市施策と連携し、周辺の景観との調和を図ります。



田園景観と調和のとれた工業地
(石川ソフトリサーチパーク)

⑤ 共通

田園景観エリアにおける一定規模以上の開発行為などについては、地区計画をはじめとする都市施策を活用し、周辺の景観や自然景観と調和した良好な田園景観の保全を図ります。



田園景観と調和のとれた開発

4) 市街地景観エリア

JR北陸本線・北陸鉄道石川線の主要駅周辺に形成している住宅地、商業地や工場などが集積している交通の利便性が高い工業地を「市街地景観エリア」と位置付けます。

当エリアを取り囲む田園景観との調和を保ちながら良好な景観の創出を図ります。



調和のとれた市街地

① 住宅地

市街地において住宅は景観づくりの重要な要素となることから、建築物の高さや色彩の調和を図ります。

また、地区計画をはじめとする都市施策を活用した適正な土地の利用や、協定など住民のルールづくりによる周辺の景観と調和のとれた住宅の誘導を図ります。



調和のとれた住宅地

② 商業地

市街地において景観づくりの主役である市民が集い、交流が生まれる商店は景観づくりの重要な要素となることから商業施策や都市施策を活用し、より活気のある商業地を形成し、周辺の景観と調和のとれた景観づくりを図ります。

また、規模の大きな商業地については、景観に与える影響が大きいため、事業者と協働し、周辺の景観との調和を図ります。



調和のとれた商業地
(千代尼通り安田町地区)

③ 工業地

市街地周辺の工場は、景観に与える影響が特に大きいため、事業者との協働のもと、環境協定をはじめとする工業施策や都市施策と連携し、周辺の住宅地・商業地の景観との調和を図ります。

また、交通の利便性が高く工場が集積している工業地についても、工業施策や都市施策と連携し、周辺の景観との調和を図ります。



周辺と調和のとれた工業地

④ 共通

市街地景観エリアにおける一定規模以上の開発行為などについては、地区計画をはじめとする都市施策と連携し、周辺の景観と調和した良好な市街地景観の保全を図ります。

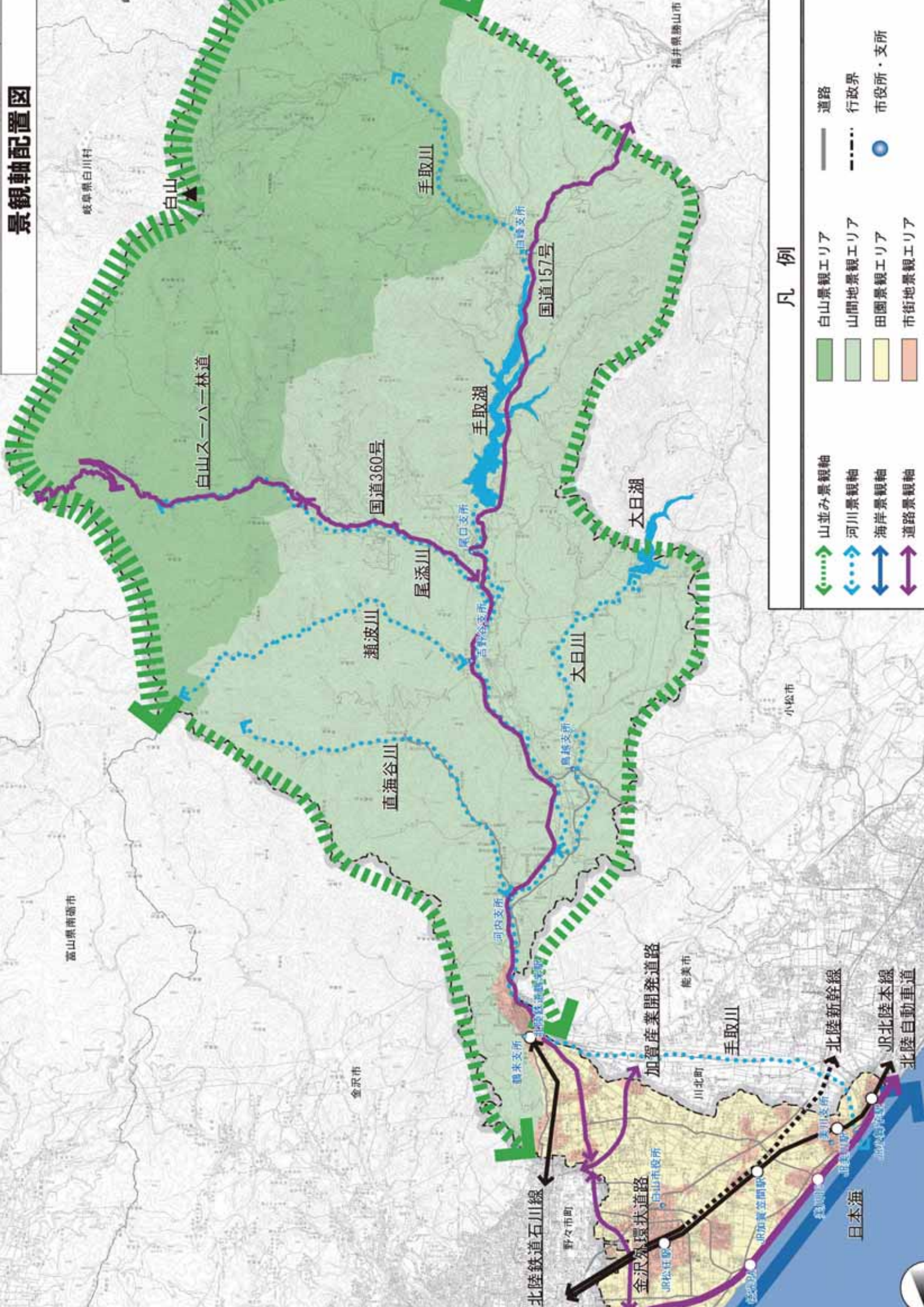
さらに、夜間の景観演出なども取り入れ、都市の魅力向上に努めます。

また、市民・事業者との協働による緑化・美化活動などの推進による良好な市街地景観の創出を図るとともに、景観上重要なまちなみの構成要素である電柱・架空線は、無電柱化を検討し、周辺との調和を図ります。



無電柱化が進むまちなみ
(燕城通り線)

景観軸配置図



凡例

	山並み景観軸		白山景観エリア
	河川景観軸		山間地景観エリア
	海岸景観軸		田園景観エリア
	道路景観軸		市街地景観エリア
	道路		行政界
	市役所・支所		

1) 山並み景観軸

霊峰白山を中心とした白山景観エリアと山間地景観エリアを取り囲む山並みを「山並み景観軸」と位置付け、環境施策や林業施策と連携し、白山市の景観の背景となる山並みの保全を図ります。



林道白木峠線からの山並み

2) 河川景観軸

一級河川の手取川をはじめとした、手取川水系の主要な河川を「河川景観軸」と位置付け、美しい自然景観を保全するとともに、市民・事業者との協働による水質の改善や美化活動など景観づくりの推進により、潤いのある水辺景観の保全を図ります。



手取川

手取川、尾添川、瀬波川、直海谷川、大日川

3) 海岸景観軸

日本海の海岸線を「海岸景観軸」と位置付け、海岸沿いの植生を保全するとともに、観光レクリエーション施設や漁業などの産業活動と調和した海岸景観の保全を図ります。

また、市民・事業者との協働による美化活動など景観づくりの推進を図ります。



竹松海岸

4) 道路景観軸

広大な市全域（景観エリア）に連続性を持たせる国道、主要地方道などを「道路景観軸」と位置付け、沿道住民、事業者や本市の屋外広告物設置許可者である県と協働し、沿道に建つ建築物の外観デザインや屋外広告物の立地について誘導するとともに、沿道緑化・美化活動などによる沿道景観の保全を図ります。

また、路線毎に道路の整備方針や仕様の統一などについて管理者と協議を行い、良好な景観づくりを推進します。



国道 157 号

北陸自動車道、国道 157 号、国道 360 号、白山スーパー林道
加賀産業開発道路、金沢外環状道路

5) 鉄道景観軸

北陸新幹線・JR北陸本線・北陸鉄道石川線沿線を「鉄道景観軸」と位置付け、景観に配慮していくとともに、車窓からの移り行く眺めを楽しむことができるように、鉄道沿線の景観保全を図ります。



J R 北陸本線（手取川付近）

1) 自然景観核

自然景観で核となる自然を「自然景観核」と位置付け、美しい景観の保全を図ります。周辺の景観についても、自然景観核との調和を図ります。



御仏供スギ

白峰百万貫の岩、太田の大トチノキ、桑島化石壁、大嵐山ミズバショウ、岩間の噴泉塔群、瀬戸の夜泣きイチョウ、御仏供スギ、五十谷の大スギ、大ケヤキ(松任城址公園)、竹松海岸ハマナス群生地、オニユリ群生地

2) 歴史景観核

歴史的景観で核となる施設を「歴史景観核」と位置付け、歴史的景観の保全を図ります。周辺の景観についても、歴史景観核との調和を図ります。

また、白山ろくの文化的景観については、景観の保全・活用のため、地区住民の同意を得て重要文化的景観の選定をめざします。



白山比咩神社

鳥越城跡・二曲城跡、白山比咩神社、舟岡山城跡、松任城址公園

3) まちなみ景観核（保存・再生）

景観条例（旧まちなみ景観条例）に基づき修景（保存・再生）されている歴史的なまちなみを「まちなみ景観核」と位置付け、本市を代表する歴史的なまちなみ景観として積極的な景観づくりに努めます。

また、地区住民の同意を得て、白峰地区については重要伝統的建造物群保存地区の選定をめざし、景観の保全・活用を図ります。



白峰地域のまちなみ

松任横町のまちなみ	松任西新町のまちなみ
美川宮前通りのまちなみ	美川新町西町内のまちなみ
鶴来新町通りのまちなみ	白峰のまちなみ（白峰、桑島）

4) まちづくり景観核（創出）

景観条例（旧美しいまちづくり条例）に基づき協定され、美しいまちづくりの創出に取り組んでいる地区を「まちづくり景観核」と位置付けます。美しい景観は人の目に映る色や形だけではなく、日常の生活から生じる雰囲気も重要となります。市民自らが自分たちの住むまちの将来像を描き、日頃取り組んでいる身近な活動や景観づくりの方法を集約したルールを作成・実現し、より美しいまちづくりを目指します。

また、住民意識の醸成に合わせ地区計画制度などの活用を検討します。



松任北安田

千代尼通り大町のまちづくり
千代尼通り安田町のまちづくり
松任北安田のまちづくり

千代尼通り中町のまちづくり
松任駅前商店街のまちづくり

5) 交通拠点景観核

本市への玄関口であるJR北陸本線・北陸鉄道石川線の主要駅や北陸自動車道のインターチェンジを「交通拠点景観核」と位置付け、都市景観の充実を図ります。

また、JR松任駅周辺については、白山市の顔づくりとして南北駅前広場の整備や、白山展望スペースを備えた自由通路を整備し、本市のシンボルである白山を広くPRします。北陸自動車道と金沢外環状道路の交通結節点である白山インターチェンジは、新しい本市への玄関口として景観に配慮した整備を進めます。



松任駅南北自由通路 南口
（白山をイメージ）



松任駅南北自由通路 北口
（日本海をイメージ）

JR松任駅、JR美川駅、北陸鉄道鶴来駅
美川インターチェンジ、徳光スマートインターチェンジ

6) 観光拠点景観核

本市を代表する観光拠点を「観光拠点景観核」と位置付け、訪れる人に感動と喜びを与えるように、良好な景観の充実を図るとともに、周辺の景観との調和に努めます。

また、新たな施設を整備する場合は、景観づくりの模範となる施設として整備します。



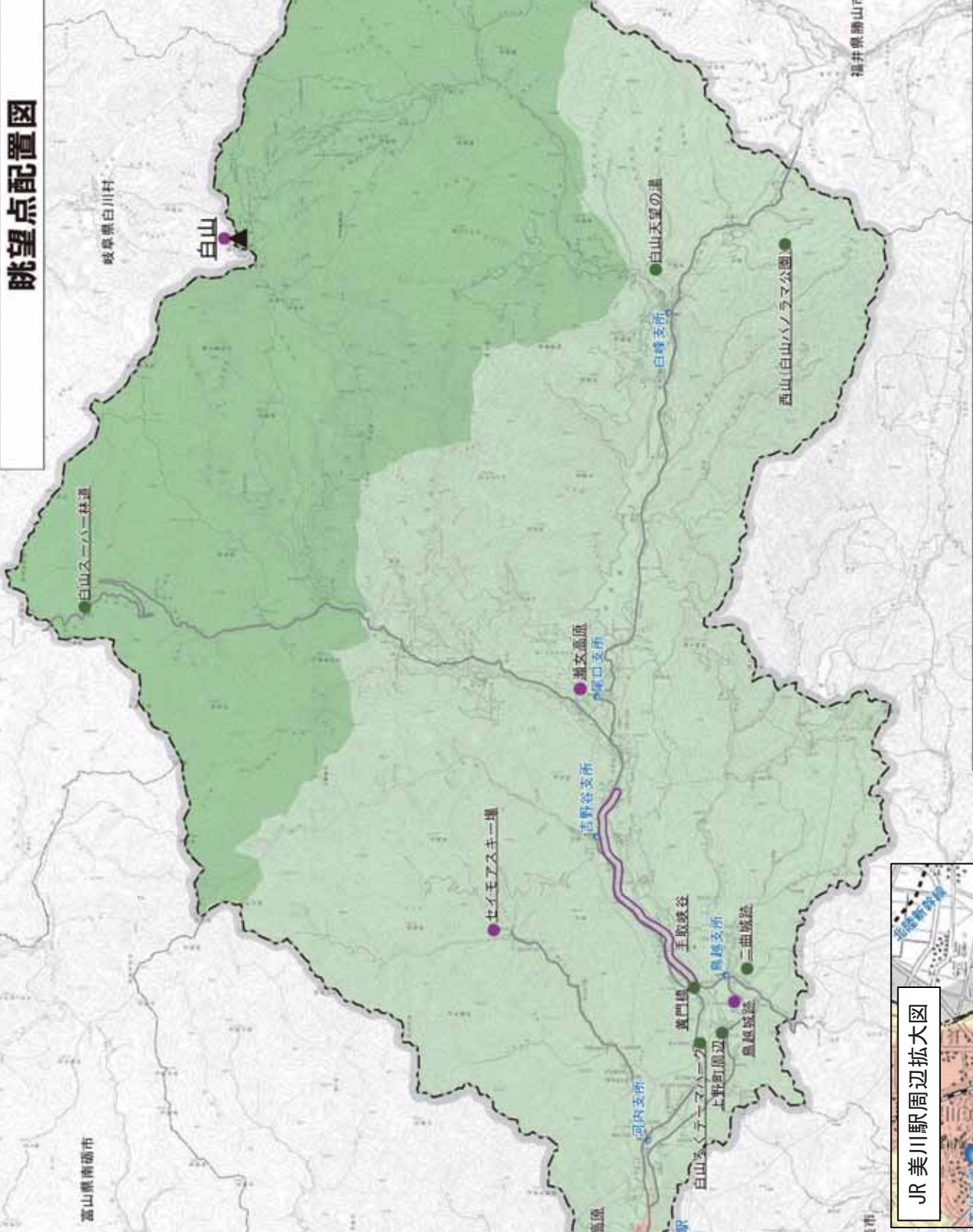
吉野工芸の里

松任C.C.Z.、白山比咩神社周辺、吉野工芸の里、白峰地区

公任駅周辺拡大図



眺望点配置図



JR 美川駅周辺拡大図

凡例

- 白山眺望景観点
- 俯瞰景観点
- その他眺望景観点
- 白山景観エリア
- 山間地景観エリア
- 田園景観エリア
- 市街地景観エリア
- 道路
- 鉄道
- - - 行政界
- 市役所・支所

1) 白山眺望景観点

本市のシンボルである白山の美しい眺望を「白山眺望景観点」と位置付け、白山眺望景観の保全を図ります。

① 西山（白山パノラマ公園）

西山の白山パノラマ公園から真正面に白山の全容を望むことができます。その雄大なスケール感は県内随一といっても過言ではありません。また、付近の林道白木峠線や白山セミナーハウス望岳苑などからも同様に白山を望むことができます。



白山パノラマ公園から望む白山

② 白山天望の湯

白山天望の湯の露天風呂から白山を望むことができます。露天風呂に入りながらの白山眺望は格別です。また、隣接施設の白山国立公園センターや白山砂防科学館などからも同様に白山を望むことができます。



白山天望の湯から望む白山

③ 白山スーパー林道

白山スーパー林道の白山展望台や、とがの木台からは、ブナ林を前景に白山を望むことができます。特に秋の紅葉を前景にした白山は、誰の目も引き付ける絶景です。また、白山スーパー林道では、姥ヶ滝うばがたきやふくべの大滝なども眺望することができます。



白山スーパー林道から望む白山

④ ふとげ 二曲城跡

史跡公園として整備が進む国指定史跡二曲城跡から白山を望むことができます。また、本丸跡地からは山間地に広がる田園を眺望することができます。遊歩道の再整備も計画されており、散策の楽しめる二曲城跡として、新しく生まれかわります。



二曲城跡から望む白山

⑤ **黄門橋**

手取川の急流が長い年月をかけて削り形成した手取峡谷を前景に黄門橋から白山を望むことができます。四季折々の手取峡谷の景観は対山橋や不老橋などからも望むことができます。



黄門橋から手取峡谷を前景に望む白山

⑥ **白山ろくテーマパーク**

白山ろくテーマパークのオートキャンプ場からキャンプを楽しみながら白山を望むことができます。

また、隣接する吊橋大巻おおまきどんど橋からは峡谷を、対岸の白山展望タワーからは白山を望むことができます。



白山ろくテーマパークから望む白山

⑦ **上野町周辺**

上野町周辺から山間地に広がる田園を前景に山並みの間から白山を望むことができます。山並みの間から望む白山は平野にない景観の一つです。春には沿道に咲く桜とともに白山を眺望することができます。



上野町周辺から望む白山

⑧ **鶴来総合文化会館（クレイン）**

鶴来総合文化会館（クレイン）正面の階段を上がり、目の前に広がる白山ホールから白山を望むことができます。白山ホールは来館者の目をひくように白山が正対するように設計され、本市のシンボルである白山をPRしています。



クレインから望む白山

⑨ **市民交流センター**

市民の研修や発表の場である市民交流センターの天望ロビーから白山を望むことができます。また、隣接する市役所本庁舎とを結ぶ渡り廊下からも同様に白山を望むことができます。



市民交流センターから望む白山

⑩ 市民工房うるわし

本市の芸術鑑賞・創作活動の拠点である市民工房うるわしの展望ロビーから白山を望むことができます。

展望ロビーには白山山系の山々の名称や標高が一目で分かる展望図や白山の花などを紹介したパネルが設置されています。



市民工房うるわしから望む白山

⑪ JR松任駅自由通路

本市の玄関口として整備が進むJR松任駅自由通路から白山を望むことができます。自由通路は駅南側を白山、駅北側は日本海をイメージした整備が進められています。また、付近の松任駅南複合型立体駐車場からも同様に白山を望むことができます。



JR松任駅自由通路（計画）から望む白山

⑫ 千代野中央公園

千代野地区の憩いの場である千代野中央公園正面の大ケヤキ周辺から白山を望むことができます。公園を住宅地が取り囲むように配置していますが、建築物の高さの制限など都市施策にて白山眺望の保全を図っています。



千代野中央公園から望む白山

⑬ 松任C.C.Z.

本市のにぎわい交流空間である松任C.C.Z.内の徳光PA海側展望台から白山を望むことができます。また、同展望台やラブリッジまっとう、松任海浜温泉などからは日本海を一望でき、美しい夕日も望むことができます。



松任C.C.Z.から望む白山

⑭ ポストンガーデン美川

ポストン※のまちなみを模したポストンガーデン美川の中央に位置する公園から白山を望むことができます。白山を望むことができるように住宅と緑道を配置しています。また、建築協定により建築物の高さの制限や緑化を推進しています。

※ 白山市と姉妹都市宣言を行った英国のポストン町



ポストンガーデン美川から望む白山

⑮ 石川ルーツ交流館

石川ルーツ交流館展望台から白山を望むことができます。明治5年に県庁が同所に置かれ、「石川県」の名称はここから生まれたとされています。また、同展望台や近接するJR北陸本線からも手取川の眺望を楽しむことができます。



石川ルーツ交流館から望む白山

⑯ 呉竹文庫周辺（手取川河口）

白山から流れ出る手取川は、扇状地を形成して日本海へと注ぎ込みます。河口から望む白山は本市を代表する白山眺望です。

呉竹文庫は、北前船主であった熊田源太郎が私財を投じて設立した図書館です。また、同施設周辺は、手取川古戦場としても知られています。



呉竹文庫周辺から望む白山

⑰ 田園を前景にした白山

田園を前景とする白山眺望は、本市の代表的な白山眺望で、市内の各地で眺望することができます。その中でも小川町周辺から手取川扇状地に広がる田園を前景にした白山の眺望は美しい白山の眺望点として、県が発行した白山眺望スポットガイドにも掲載されています。



小川町周辺から望む白山

⑱ 鉄道を前景にした白山

鉄道を前景とする白山眺望は、市内の各地で眺望することができます。今後はJR北陸本線や北陸鉄道石川線に加え、北陸新幹線も前景とした白山の眺望が期待できます。



JR北陸本線を前景にした白山

2) 俯瞰景観点

白山からの山並みや獅子吼高原からの手取川扇状地など、本市の美しい俯瞰景観を「俯瞰景観点」と位置づけ、景観の保全を図ります。

① 白山

白山の最高峰である御前峰からは 360 度に広がる大パノラマを眺望することができます。夏には多くの登山客でにぎわい、山肌を埋めつくす高山植物群落や頂上付近の湖など、様々な自然景観を楽しむことができます。



御前峰からの大パノラマ

② 瀨女高原

白山瀨女高原スキー場のゴンドラリフトで山頂駅まで登ると、山間地景観と共に手取湖の全容を眺望することができます。冬季以外にも休日を中心にゴンドラリフトを利用できるため、年間を通して眺望することができます。



瀨女高原山頂から望む手取湖

③ 鳥越城跡

手取川と大日川の合流点に位置する丘陵先端部に築かれ、国の史跡に指定されている鳥越城跡からは山並みを背景に一帯に広がる田園を眺望することができます。「百姓の持ちたる国」と呼ばれた一向一揆最後の舞台となりました。

また、二曲城跡からも同様に眺望することができます。



鳥越城跡から望む田園風景

④ 手取峡谷

手取峡谷に架かる黄門橋をはじめとする橋からは、手取川の急流が長い年月をかけて削り形成した高さ 20m を越える絶壁の峡谷を眺望することができます。また、手取峡谷に流れ込む綿ヶ滝の眺望は圧巻です。



黄門橋から望む手取峡谷

⑤ セイモアスキー場

セイモアスキー場のペアリフト※にて山頂付近まで登ると、山間地景観と共に手取川扇状地や日本海などを眺望することができます。

また、同ペアリフトより数分登ると、白山も眺望することができます。

※ ペアリフトは冬季のみの運行となっています。



セイモアスキー場山頂から望む手取川扇状地

⑥ 獅子吼高原

獅子吼高原のゴンドラリフトにて山頂駅まで登ると、手取川扇状地に広がる田園や日本海などを眺望することができます。特に、夜間景観は素晴らしく、平成21年6月に夜景100選に選定されました。



獅子吼高原山頂から望む手取川扇状地

3) その他眺望景観点

白山眺望景観や俯瞰景観を除く日本海に沈む夕日など、本市の美しい眺望景観を「その他眺望景観点」と位置づけ、眺望の保全を図ります。

① 松任海浜公園展望休憩所

本市のにぎわい交流空間である松任C.C.Z.内、松任海浜公園展望休憩所から日本海を一望でき、美しい夕日も望むことができます。また、同様の眺望を松任海浜温泉露天風呂などからも楽しむことができます。



松任C.C.Z.から望む日本海

② 小舞子海岸

日本の渚百選にも選定されている小舞子海岸から日本海を一望でき、美しい夕日も望むことができます。

この景勝が兵庫県の舞子の浜を彷彿させることから、小舞子海岸と名付けられました。



小舞子海岸から望む日本海